

くわい

———— 発病・加害時期
 ===== 発病・加害最盛期

作型・病虫害名	月												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
普通						▲ 種球植付け							■ 収穫
赤茎ひぶくれ アブラムシ類 ハスモンヨトウ						————	————	————	————				
赤茎ひぶくれ アブラムシ類 ハスモンヨトウ						————	————	————	————				
赤茎ひぶくれ アブラムシ類 ハスモンヨトウ						————	————	————	————				
赤茎ひぶくれ アブラムシ類 ハスモンヨトウ						————	————	————	————				

赤枯症（フザリウム菌）

防除方法

- 1 種いもは無病のものを選ぶ。
- 2 種いもを貯蔵前に下記の薬剤に30分間浸漬する。
 - ・ [ベンレートT水和剤20](#) <1> <M3> 【300倍 種いも貯蔵前／1回】

茎腐病

留意事項

- 1 QoI剤<<11>>は、耐性菌が出現しやすいので、1作1回程度の使用に努める。

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [ユニフォーム粒剤](#) <4> <<11>> 【3kg／10a たん水散布 21日／2回】

ひぶくれ病

留意事項

- 1 台風などで茎葉に傷を生じた場合に発生しやすい。

防除方法

- 1 被害葉は早めに摘除し、孢子球の飛散を防ぐ。
- 2 発生が見込まれる時期に、下記の薬剤を予防的に散布する。
 - ・ [Zボルドー](#) <M1> 【500倍 —／—】
 - ・ [コサイド3000](#) <M1> 【2000倍 —／—】

アブラムシ類

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

- ・ [スタークル粒剤](#)、[アルバリン粒剤](#) < 4 A > 【3kg/10a 30日/3回】
- ・ [ダントツ粒剤](#) < 4 A > 【6kg/10a たん水散布 7日/3回】
- ・ [ウララDF](#) < 2 9 > 【2000倍 21日/3回】

ハスモンヨトウ

留意事項

- 1 パダンSG水溶剤は、眼に対して強い刺激性があるので眼に入らないよう注意する。

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [パダンSG水溶剤](#) 劇 < 1 4 > 【1500倍 30日/3回】
 - ・ [BT剤](#) < 1 1 A > (区野菜類の病虫害防除3 参照)

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。